

# オムツ改革

～入居者も職員も笑顔になれる  
ケアを目指して～

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑  
ケアスタッフ 伊藤 玲

## テナ導入のきっかけ

- ▶ ある一人の新規のご入居者から老健から入居。
- ▶ 入居後夜間おむつ交換を嫌がる。
- ▶ 眠れず日中も傾眠となる。
- ▶ 老健とどこが違うのか？
- ▶ 老健では夜間おむつ交換をしていなかった。  
(就寝～起床)
- ▶ 老健の時はテナを使用していた。

## スタッフの声

- ▶ 「夜勤では巡回に加え、定時のトイレ誘導やパット交換が多く時間内に終わらない」
- ▶ 「日中のトイレ誘導やパット交換が多くご入居者との関わる時間が少ない」
- ▶ 「見守りが不足する」
- ▶ 「オムツの種類が多く使い分けや管理が難しい」



休憩時間が取れない  
スムーズに退勤が出来ない

## 性質の違い

### リフレ

- ▶ 一般的なオムツと同じ
- ▶ 吸収量は700ml～1300ml
- ▶ コスト1枚16円～37円

### テーナ

- ▶ パットタイプでショーツと合わせて使う
- ▶ パルプの量が多い
- ▶ 不織布のバックシートに通気性の良い素材と皮膚に優しいアロエベラを配合
- ▶ 吸収量350ml～1200ml
- ▶ コスト1枚～29,5円～99円

### 比較例

		目安吸収量	単価
リフレ	ハイパー2000	1200ml	69円
テーナ	コンフォートマキシ	1200ml	99円

## テーナの特徴

▶ テーナフレックス  
ベルトで止める

▶ テーナスリップ  
従来のテープ式

## 事例1 胃瘻造設者

- ▶ ADLの状態は胃瘻造設
- ▶ トイレに座れず便のコントロールもうまくいってなかった。
- ▶ ベッド上でも体の動きもありオムツがずれた。
- ▶ 体の反り返りあり交換もしづらい。

# 事例 1

## ▶ オムツ交換の時間

○リフレ使用時

6時 9時半 11時 14時  
16時 19時  
22時 1時 4時

○テナ使用時

6時 10時 16時 20時  
or  
6時 14時 20時

## 事例 1

- ▶ テーナ使用しスリップアルティマ  
→フレックスアルティマ+さらさら
- ▶ 漏れることが12回→6回
- ▶ 週2回離床時間とれた
- ▶ まだ排便のコントロールが上手くいっておらず  
下剤や栄養等の検討が必要

## 事例2 日中ボーっとしていることが多かったケース

- ▶ 離床後ボーっとしている
- ▶ 体を動かす機会がない ⇒楽しみがない
- ▶ 職員がかかわれる時間が少ない

(職員側)

- ▶ 二名介助でトイレにいたり Hug やスカイリフトの使用を試みたが業者にも適応が難しいといわれ使えず
- ▶ スタッフの負担も大きかった

## 事例 2

### トイレ誘導の時間

#### リフレ使用時

・ 7時 9時 11時 14時  
16時 19時 1時

#### テナ使用時

・ 7時 10時半 15時 20時

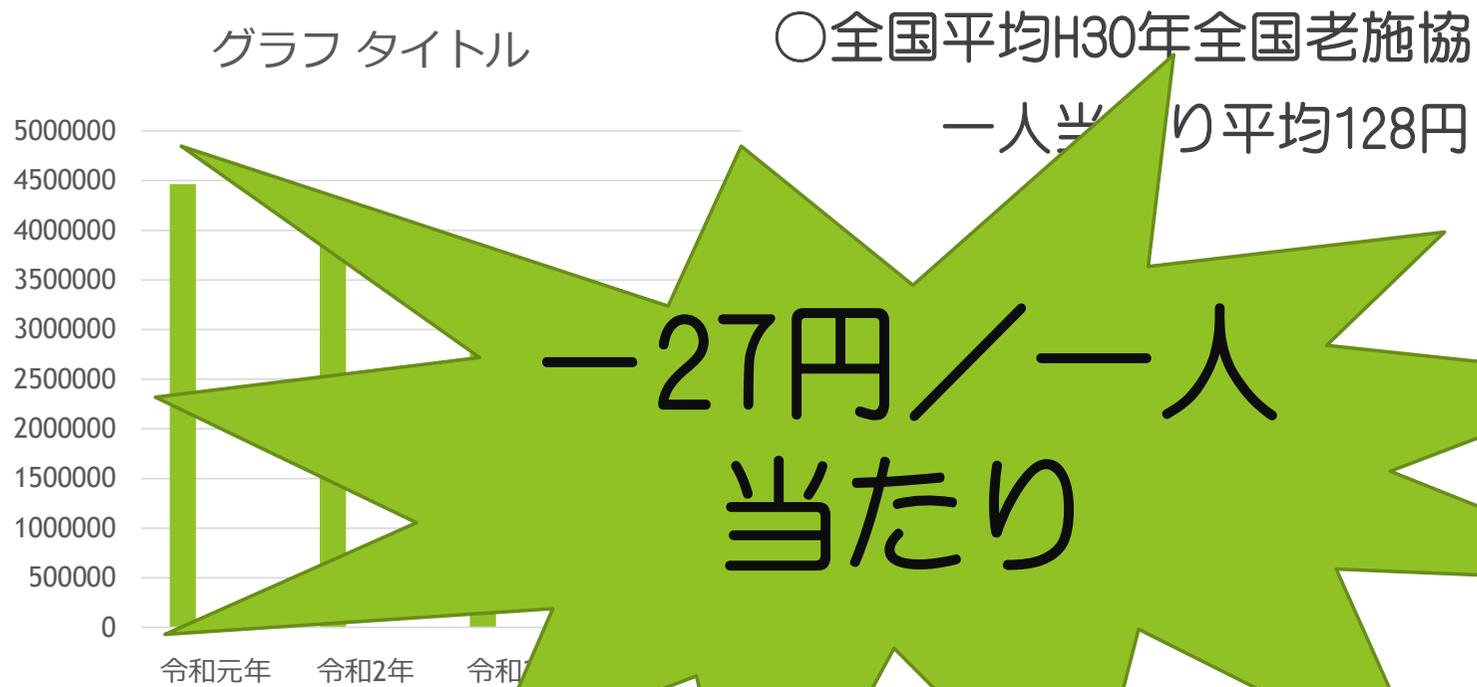
## 事例 2

- ▶ 足踏み運動を行える時間が朝食後、昼食後に作れた。
- ▶ 片手でも行えるレクリエーションをスタッフの空いている時間に出来た。



楽しく過ごせる時間が作られた。

# コスト面



## 結果

- ▶ 夜間おむつ交換の回数が減った。
- ▶ オムツ交換の時間短縮。
- ▶ 休憩時間を使わずに記録を書けるようになった。
- ▶ 入居者と関わる時間が作れた。
- ▶ 職員の心に余裕ができた。
- ▶ オムツのコストが軽減できた。

## 課題

- ▶ まだ漏れで汚れること。
- ▶ 当て方や排泄感覚の再確認。
- ▶ 作れた時間で多くの職員がご入居者と関わる時間を作りたい。
- ▶ コストが全国平均より高いので工夫していききたい。

## 最後に

- ▶ 一つのきっかけからテナの導入になったが今後  
もどうしてこうなるだろう他に何かできることは  
ないかと情報を掴んでいくことが大切であると思  
った。
- ▶ これからも快適に生活していただきより楽しく過  
ごせる時間を作っていきご入居者にも職員も笑顔  
になれるケアを目指していきたいと思ひます。

